

「燃やさないごみ」は危険を伴いながら手作業で選別

伊賀南部クリーンセンターでは、回収された全ての「燃やさないごみ」の中から発火原因となるごみを選別しています。手作業のため、ケガをする危険性や、使用済みマスク、ティッシュなどが混入していることもあり、新型コロナウイルスの感染リスクも伴います。またコロナ禍で在宅時間が増え、家庭から出るごみが

増えており、選別作業は今まで以上に時間や手間がかかります。ボタン電池のような小さいものもあるため、火災事故につながる全ての物を取り除くことは、非常に困難です。危険も伴い、選別費用もかかりますが、火災事故につながるごみの排出が後を絶たないため、選別作業を続けていかなければならない状況です。



スプレー缶
カセットボンベ **436本**
※穴あけしていないスプレー缶が82本も

今年1月に収集した
「燃やさないごみ」45.9tの
中に入っていました！

ドン!
電池 **67.9kg**

**ライター
274個**

トホホ
市民の皆さん…
これが現状なんです
手選別の結果…

ごみ収集車内から煙が！収集に大幅な遅れ

ごみ収集車での火災も起きています。右の写真は、「燃やさないごみ」の回収時に、ごみ収集車内で出火した時のもの。発見が早かったため、作業員にけがはありませんでしたが、収集に大幅な遅れが。燃え殻から、スプレー缶やライターなどが複数見つかりました。

ごみ収集車でも
火災が起きています



だから
分別しないと！
「分別しない」「自分勝手」で
「自分も」「皆も」
困るようになるんだね！

火災の被害が大きくなれば、ごみの受入やごみ処理ができなくなる！
市民生活に大きな影響がでてしまう…

それに
多額の復旧費用も
かかっちゃうね…

ごみの分別お兄さん
出し方のおさらいを！

全て「資源ごみ」の日！

スプレー缶の正しい出し方

ごみの分別お兄さんが熱演！

スプレー缶は使い切り
穴をあけ、「専用」がごみへ！

ライターは使い切り
「専用回収容器」へ！

電池は取り出して
「専用」がごみへ！

全日本
ごみ分別
選手権大会

ごみの分別お兄さんもオススメのごみ分別アプリ「さんあ〜」。ごみの収集日程表や分別方法が、スマートフォンで簡単に確認でき、ごみの出し忘れ防止の通知機能も付いています。ぜひダウンロードを！



「スプレー缶」「電池」「ライター」は、「資源ごみ」の日に出して！

分別しないと火災事故に



伊賀南部クリーンセンター（伊賀市奥鹿野）の火災
で処理できなくなった粗大ごみ（令和元年11月）

燃やさないごみに混入した電池で火災！処理がストップ

令和元年7月18日に「燃やさないごみ」から出火し、「燃やさないごみ」や「粗大ごみ」の処理施設が損傷しました。そのため、破砕などのごみ処理ができず、収集した粗大ごみなどをクリーンセンター敷地内に一時的に仮置きせざるを得ない状況になりました。

約800トンのごみ（約4カ月分の燃やさないごみと粗大ごみの量に相当）が山積みとなり、仮設の破砕機で破砕処理を行ったり、ごみ処理を外部へ委託しながら何とか処理を継続しました。

ごみの分別お兄さん
環境対策室 森永 陸斗

ええええ
こんなに費用が
かかるんです…

ええええ
15億4千万円の
費用がかかったの
処理施設の復旧に

スプレー缶・電池・ライターが火災の原因に！

| 発生時期 | 内容 | 原因と考えられる混在物 | 被災状況・影響など |
|--------|------|------------------------------|-------------------------------------|
| R1 7月 | 火災 | リチウムイオン電池 (カメラやゲーム機などの電池) | 施設損傷により復旧費用15億4千万円 ごみの受入業務・処理の遅延 |
| R1 9月 | 車両火災 | スプレー缶 | 収集車両の損傷により収集業務の遅延 |
| R2 12月 | 火災 | カセットボンベ | ごみの受入業務・処理の遅延 |
| R3 1月 | 火災 | 原因特定できず | ごみの受入業務・処理の遅延 |
| R3 3月 | 火災 | リチウムイオン電池 | 処理の遅延 |
| R3 12月 | 火災 | スプレー缶・灯油ポンプ | 処理の遅延 |

ごみを収集・受入できない…そんな最悪の事態にもなりかねない

令和元年7月に伊賀南部クリーンセンターのリサイクル施設で発生した火災で処理施設が損傷し、一部のごみを外部で処理していました。施設の復旧工事は、昨年9月末に完了。完全復旧には2年もかかり、多額の復旧費用や外部へ委託したごみ処理費用も必要となりました。

もし、火災の被害がさらに大きければ、ごみ処理を停止し、

ごみの収集や受入を制限せざるを得なくなります。ごみ処理を継続するためには、皆さんの正しい分別が必要不可欠です。スプレー缶やライター、電池類など発火原因となる危険物は、ごみ収集車やクリーンセンターでの火災につながるため、「燃やすごみ」や「燃やさないごみ」へ絶対に入れないようにしてください。

伊賀南部環境衛生組合
業務室長 高野 香二